

AI T.hiba

自動導入ドライブコントローラー

取扱説明書 取付編

モーターの取付け（タカハシ NJP 赤道儀系）（必要工具：六角穴ボルト用ヘクスレンチ）
：場合によってプラスドライバー）

モーターの金具を取り付ける際はウォーム調整金具を取り外して

写真の状態になるようにください。純正のギアは外してください。

軸受を支えているねじは絶対に緩めないでください。

プーリーを取り付けます。（赤経、赤緯とも同じものを使っています）



モーターユニットを取り付けてください。



赤緯モーターユニットは極軸望遠鏡の接眼部側から見て右側にプーリーがくるように取り付けます。

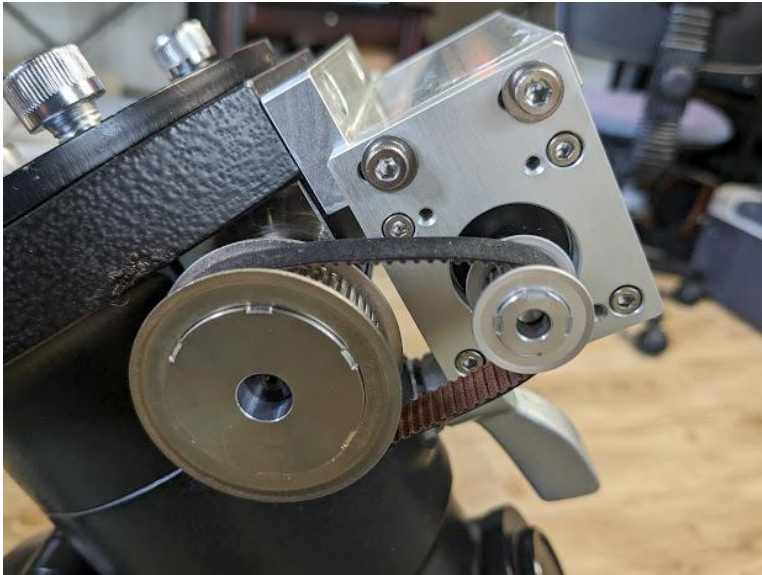
NJP の製造年式によって ISO ねじ と 旧 JIS ねじ を使ってます。

それぞれ適合したものをお使いください。（厳守）合わないものを使用するとネジ山が潰れます。

いずれか選択して取り付けてください。どちらも 5 mm ねじです。

付属の M6 ねじで取り付けてください。

旧 JIS ねじはプラスドライバーでその他は六角穴ボルト用ヘクスレンチで取り付けます。）



取りつけるモーターユニットは
モーターの大きいほうが赤経、小さいほうが赤緯になります。

モーターユニットを取り付ける際はベルトをかけてから取り付けるのが簡単です。

タイミングベルトは赤緯と赤経ではサイズが異なります。
使用するタイミングベルトの仕様です。
ベルトに記載されている型番を確認してください。

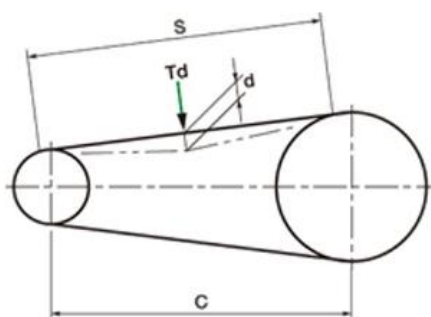
タイミングベルト **品番 : 赤緯 B87MXL9.5 赤経 B90MXL9.5**

ベルトの張りに調整します。



モーターの固定ねじを緩めベルトがピンと張るように調整し固定ねじを締めます

ベルトは押さえて 2 mm 程度沈む程度に

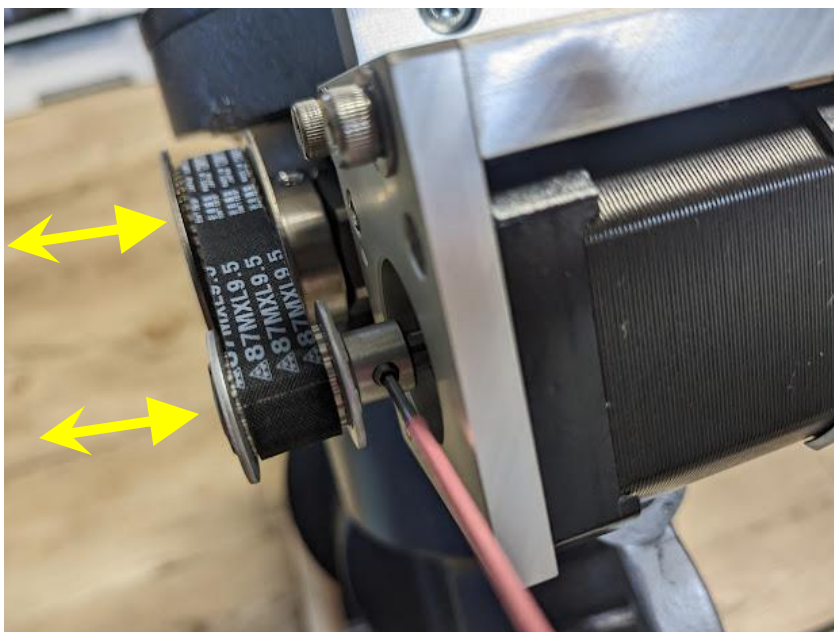


テンションは張りすぎるとモーター軸に負担がかかりますし

緩みすぎるとバックラッシュの遊びが大きくなりニアな感じが失われます。

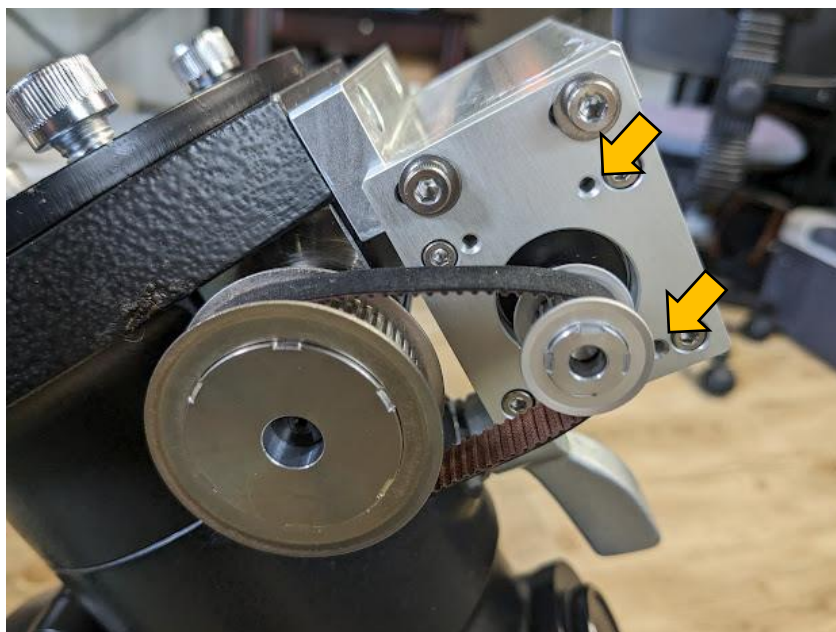
問題が無ければモーターケーブルを取り付けて試運転してみてください

モーターを回してみても滑りやきしみなどがないか確認してください。



きしみ音が出る場合などは
タイミングベルトがプーリーの端に当たっている場合があります。
なるべくベルトがプーリーの中央に来るように
赤道儀のプーリーとモーターのプーリーを軸方向に移動させて
調整してください。

プーリーカバーの取り付け。



プーリーカバーを取り付けます。

プーリーカバーはカーボンフィラメントで採用されており耐候性に良い素材で作られています
矢印のねじを使ってカバーを取り付けます。



カバーは切りかけのサイズが違います。

赤緯のカバーは本体に合わせて切りかけが深くなっています。

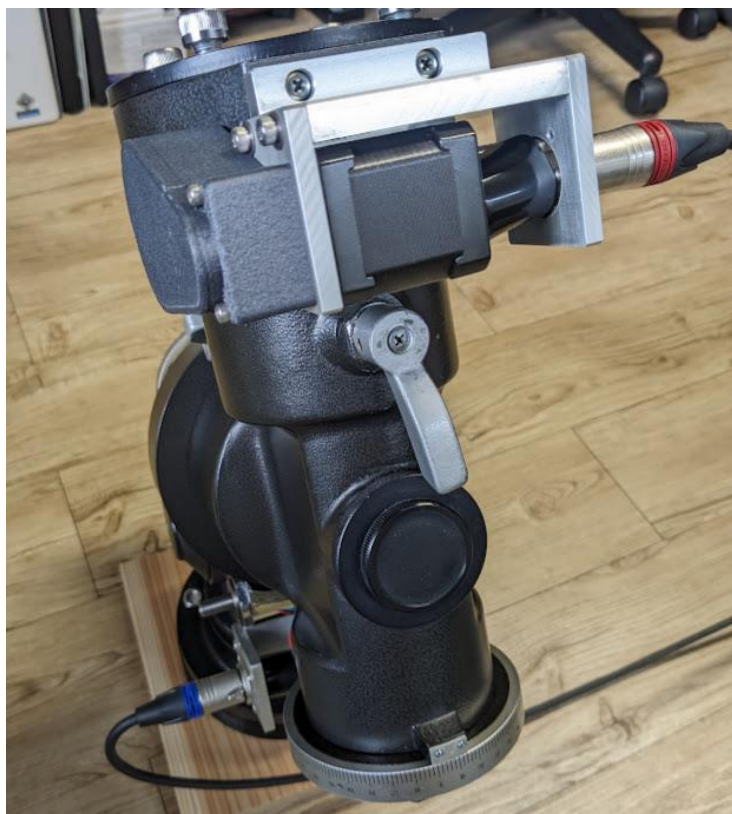
付属のねじ（M3 長さ 25mm）で取り付けます。

7.モーターケーブルの取り付け。

モーター側コネクタ―



コネクタ―を接続します。カチツというまで押し込みます。
外すときはコネクタ―のリリースボタンを押しながら引き抜きます。



赤色のリングのついているコネクタ―が赤緯側
青色のリングのついているコネクタ―が赤経側になります。

マチナカリモート天文台